

(別紙報告書)

取り組み内容 タイトル

足利市川崎町・多田木町における遊休農地解消緊急対策事業の取組事例

令和5年3月

市町名 足利市

【市町・地域の概要】

- ・農地利用集積率 51.0%
- ・遊休農地面積 13.4ha
- ・認定農業者等 281 経営体

足利市川崎町・多田木町は市の東部に位置し、本取組を行った農地は、圃場整備事業を行った農振農用地区域内にある農地である。

【取組前の状況・課題等】

長期間耕作放棄状態となっていた。

【取組内容】

国の遊休農地解消緊急対策事業を活用し、次の取組を行った。

- ① 全委員へ事業内容を説明。農業委員（担い手）の1人が本事業の活用を希望した（多田木町）
- ② 事務局は、従来から農地を探していた担い手に対して本事業活用による農地の借入を提案。担い手は本事業活用を希望した（川崎町）。
- ③ 地区推進委員が調整等、活発な活動を展開した。
- ④ 農地バンクは、耕作者に解消作業を委託した。農業委員会、農業会議、県とともに現地検討会を開き、現地確認や耕作者との委託内容の調整を実施した。

(解消前)



(解消後)



【今後の展開と方向】

引き続き農地の集約化の取り組みを進めたい